

5月の朝礼（R3.5.6）

みなさん、おはようございます。

旅行ができなかったり、親戚の人やおじいちゃん、おばあちゃんに会えなかったり、買い物にも行きにくかったり、いろいろとできないことが多かった連休ですが、皆さん、有意義に過ごせましたか？

また一学期が続いていきますが、これからも、できないことを残念がるのではなく、できることの中から自分にとっての楽しみを見つけながら過ごしましょう。

さて、先生はもともと中学校にいましたが、中学校にはいろいろな部活動があります。今年も昨年に続き、緊急事態宣言のため、春の大会が中止になってしまいました。中学生たちは夏の大会こそ開催されると信じて、気持ちを切り替えて感染に気をつけながら練習しています。

今日のお話は、サッカー部監督の先生の話です。以前、サッカー部監督の先生が、中学生たちに質問をされました。その質問は、「いいパスをもらうためにはどうすればよいか、分かりますか」というものでした。みんなは、どう思いますか。

答えはいろいろとあると思いますが、その時の答えは、「いいパスをもらうためには、味方に良いパスを出さなければならない」というものでした。なるほどなあと思いました。自分のチームメイトが取りにくい、変なパスを出してしまうと、その味方は、無理な体勢からパスを返すことになるので、結局自分の所にも変なパスが返ってくる可能性が高いのです。相手が受けやすく取りやすいパスを出すことで、自分の所にも良いパスが返ってくる。この話は、日常生活にも当てはまると思いませんか？良いあいさつがほしければ、良いあいさつをこちらからする。人に親切にしてほしければ、まずは自分から親切にする。人に優しくしてほしければ、自分から人に優しくする。

まだまだ、我慢の毎日が続きますが、みなさんも、よいパスをもらうために、常によりよいパスを出し続けるようがんばってみてください。これで終わります。